



乾杯を
もっとおいしく。

2025 年 11 月 5 日
N E W S R E L E A S E

サッポロビール株式会社

容器包装の大幅軽量化で環境負荷を軽減

RTS500ml びん/焼酎 1.8L ペットボトルに軽量容器を導入
循環型社会に対応した容器包装を採用し、年間で約 382t の CO₂排出量削減へ



サッポロビール(株)は、RTS(注1)商品「濃いめのレモンサワーの素」「濃いめのグレープフルーツサワーの素」「男梅サワーの素」「サッポロサワー 氷彩 1984 素」で使用している 500ml びんについて、2026 年のリニューアル以降 1 本あたりの容器重量が従来の 320g から約 3 分の 2 の重量の 215g に軽量化した容器に順次変更します。

また、焼酎「トライアングルブラック」で使用している 1.8L ペットボトルについても、「トライアングルブラック 25 度」は本年 12 月製造分から、「トライアングルブラック 20 度」は 2026 年 2 月製造分から 1 本あたりの容器重量が従来の 66g から 58g に軽量化した容器に順次変更します。

サッポログループは、サステナビリティ重点課題のひとつに「循環型社会の実現」を掲げて取り組んでいます。サッポログループ容器包装ビジョン(注2)においては、2050 年までに循環型社会に対応した容器包装へ 100%変更していくことを目指しており、環境負荷を低減した容器包装の使用拡大を進めています。

今回の軽量容器の導入により、容器製造や輸送の効率改善が図られ、従来容器と比較して年間の CO₂排出量が RTS 商品 500ml びんでは約 380t、1.8L ペットボトルでは約 2t の削減が見込まれます(注3)。

本取り組みはサッポログループ容器包装ビジョンの具体的な実践の一環であり、資源の有効活用と環境負荷低減を目指すものです。サッポログループは、サステナビリティ方針「大地と、ともに、原点から、笑顔づくりを。」のもとに、サステナビリティ重点課題に対する目標達成に向けて取り組みを進め、「持続可能な社会の実現」と「グループの持続的な成長」の両立を目指します。

(注1)Ready to Serve の略。氷やソーダなどで割るだけで楽しめるお酒。

(注2)<https://www.sapporoholdings.jp/sustainability/environment/recycling/packaging/>

(注3)軽量化対象 RTS 製品、PET 製品の 2024 年販売実績数に基づく CO₂排出量を従来基準として算出。

■RTS500ml びん軽量化概要

- | | |
|---------|--|
| 1. 対象商品 | 「濃いめのレモンサワーの素」「濃いめのグレフルサワーの素」
「男梅サワーの素」「サッポロサワー 氷彩 1 9 8 4 素」 |
| 2. 対象容器 | 500ml びん・従来の 320g から 215g に軽量(約 3 分の 2 の重量) |
| 3. 導入時期 | 各ブランド 2026 年リニューアル以降順次変更 |
| 4. 効果 | 従来容器と比較して年間 CO ₂ 排出量は約 380t 削減見込み |

■焼酎 1.8L ペットボトル軽量化概要

- | | |
|---------|---|
| 1. 対象商品 | 「トライアングルブラック 25 度」「トライアングルブラック 20 度」 |
| 2. 対象容器 | 1.8L ペットボトル・従来の 66g から 58g に軽量 |
| 3. 導入時期 | ・トライアングルブラック 25 度は 2025 年 12 月製造分から順次変更
・トライアングルブラック 20 度は 2026 年 2 月製造分から順次変更 |
| 4. 効果 | 従来容器と比較して年間 CO ₂ 排出量は約 2t 削減見込み |